

しゃきょう

平成26年8月1日発行 第360号

発行 八丈町社会福祉協議会

八丈町三根2番地

TEL 04996-2-2609

FAX 04996-2-4655

心配ごと相談 TEL2-5000

Eメール hachijou@fancy.ocn.ne.jp

HP http://www9.ocn.ne.jp/~hachijo/



社協では平成25年度～29年度の期間、第2次みつわ計画に基づき事業を行っています。

社協役員の改選を行いました



さる7月7日、八丈町社協の理事・評議員・監事の改選を行いましたので、ご報告いたします。理事会は、事業や予算に関する議論や、助成金の審査などをする業務執行の決定をする機関です。

評議員会は、理事会より示された内容について、審議し議決します。

このように理事・評議員は、社協の活動を決める役割をしていきます。任期は平成28年7月までの2年間になります。

また、理事・評議員は「福祉バザー」など、社協の事業そのものにも尽力しています。

こうした役員の活動には謝礼はなく、全て無償で活動しています。

今期も役員・職員一丸となり、地域福祉のために努力していきますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひ致します。

監 事	理 事	会 計 理 事	副 会 長	会 長	新 理 事 ・ 監 事 一 覧
笹内山 長利江差夫	山下山下島冬木田代 行彦ミヤ子憲治克良典夫重喜勝重	笹本近藤沖山浅沼 紀子或義忠久美代	笹本川上奥山玉置 清福妙子邦光	葛馬忠道	
	紀子或義忠久美代				

今月のもくじ

2面: 新評議員紹介

暑中お見舞
ご寄附報告

3面: 福祉交流会報告
職員紹介

4面: ボランティア

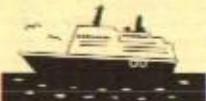
島しょ社協連絡協議会ご報告

島しょ社協では、例年、伊豆諸島・小笠原の社協の役職員が一堂に会し研修会を行う「島しょ社協連絡協議会」を開催しています。

今年度は八丈島が幹事となっており、7月10日に開催する予定でしたが、台風8号の影響により、

残念ながら中止となりました。

天候に大きく左右されるのは島しょの宿命ですが、来年度こそ有意義な会が開催できるように、準備していきたいと思います。





暑中お見舞い申し上げます

八丈町社会福祉協議会 役職員一同



新評議員紹介

評議員は各地域より選出された40名で構成されています。

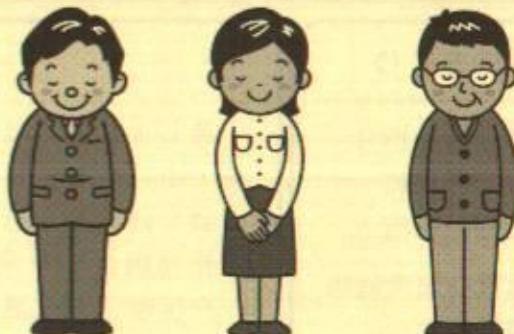
◎ 榎立地域	◎ 三根地域
丸山 葉梨 磯崎 千秋 美智子	持丸 土屋 玉置 佐藤 佐藤 金川 金川 赤松 小栗 大澤 大澤 都 幸一 富美代 富美代
◎ 末吉地域	◎ 大賀郷地域
藤井 沖山 浅沼 浅沼 恵理子 綾夫 幸友 和子	山崎 櫻井 河野 菊池 菊池 菊池 折田 奥山 沖山 大脇 石川 新井 静子 洋子 洋一 房子 寛洋 洋子 四郎 正江 凉子 恵子 功 荣一 三雄 —
◎ 中之郷地域	
田代 幸男 殿 (三根) 亡妻 (田代温子殿) の一周忌に際して	山下 山下 山下 村田 沖山 沖山 大澤 利美 ちづ子 百合子 和彦 住安 百里子 節子 ちづ子

寄附者一覧

ご寄附いただきまして、誠にありがとうございました。皆様からいただきましたご寄附は、高齢者や障がいの方々の在宅福祉サービス等、島の福祉の為に大切に使わせていただきます。

田代 幸男 殿 (三根)
100,000円

亡妻 (田代温子殿) の一周忌に際して



福祉交流会開催

6月21日(土)に福祉交流会として、三根小学校体育館で運動会を行いました。ちよんこめ作業所・フェニックス作業所・身障者友の会・民生児童委員・婦人会の団体と一般参加者の合計150の方に参加していただきました。5種目の競技を6チームに分かれて行いました。



「輪っかで玉取り」の様子

社協の職員が競技説明をして、競技開始。最初の種目は「輪っかで玉取り」。輪を投げて多くの玉を取ったチームの勝ちになる競技です。中々玉の所に輪が行かなくて、輪の転がる方向を声を上げながらみんなで見て楽しみました。そのほかジャンケンで負けたチームが新聞紙を折つていき、その上に乗れなくなつたら負けの「新聞紙ジャンケン」や輪になつてボールを受け渡し、早さを競つた「ぐるぐる」など行いました。



早さが勝負の「ぐるぐる」

そして最後の競技は「綱引き」。誰でもご存じの競技ですが、チーム一丸となつて力を合わせなければ勝てなく、また体力の消耗が激しいのもこの競技の特徴です。終つた後は、倒れこむ方もいて、力一杯競技に取り組んでいたことだと思います。

競技終了後は、みんなで昼食を食べました。その後は結果発表して、自

分のチームの順位に一喜一憂する姿がありました。

社協の行事は、毎回多くの方に参加していましたが、また多くの方にお手伝いをしてくださいます。今回の福祉交流会もこうした中、開催されました。参加協力していただいた皆様ありがとうございました。



「綱引き」勝利の喜び

職員紹介

八丈島の皆さん、こんにちは。菊池孔介と申します。昭和48年大賀郷に生まれて、今年で41歳、社協生活も早いもので今年で13年目に入りました。

私は八高を卒業後、すぐに上京しフリーターをしながら、子どもたちと関わるボランティア活動をしていました。この活動が私の福祉の原点になっています。

この団体は「子ども達に牧場でボニーに乗つて貰い、楽しい思い出作りをして貰おう」というものでした。

そんな活動がきっかけで福祉に興味を持つようになり、24歳で福祉系の大学に進学して、28歳の時に卒業しました。当タイムニング良く社協で職員募集があり、試験を受けたところ、採用して頂きました。

社協の仕事はいろいろな分野に渡り、12年経つた今でもまだまだ悩むことが多いです。特に地域の課題は多く、社協としても個人としても出来るることは限られていますが、少し地域のお役に立てるよう頑張つて行きたいと思います。

皆さんこれからも宜しくお願ひします。



息子とノラタイム

◎サロン日程

8月のよりあいサロンは左記の日程になります。皆様のお越しをお待ちしております。

坂下地域	8月20日(水)
坂上地域	午前10時～12時 旧社協事務所 中之郷老人会館



社協の職員が競技説明をして、競技開始。最初の種目は「輪っかで玉取り」。輪を投げて多くの玉を取ったチームの勝ちになります。

社協の行事は、毎回多くの方に参加していましたが、また多くの方にお手伝いをしてくださいます。今回の福祉交流会もこうした中、開催されました。参加協力していただいた皆様ありがとうございました。

ボランティアコーナーだより

スクール出前報告

三根小学校4年生へ
5・6月に計4回スクール出前に出かけました。
5月9日は「高齢者疑似体験」を行いました。装具を付けて、財布から小銭を出したり、本を読んだりと、日常生活で行っていることをお年寄りになりきって体験しました。



5月20日は「点字体験」を行いました。見て様子を知つてもらいたい、点字の勉強をしました。「あいうえお」から勉強し、最後は自分が名前を打てるようになりました。

5月6日は「手話体験」を行いました。手話の指文字を学び、自分の名前を表現したり、最後に全員で手話コラスで「ふるさと」を歌いました。

6月6日は「手話体験」を行いました。手話の指文字を学び、自分の名前を表現したり、最後に全員で手話コラスで「ふるさと」を歌いました。

ジヨイセフとは、途上国の妊産婦と女性の命と健康を守るために活動している、日本生まれの国際協力NGOです。送られたフルーチップはジヨイセフで換金され、妊産婦と女性の命と健康を守る活動（ホワイトリボン運動）の資金の一部として活用されます。途上国では妊娠や出産が原因で1日に800人以上上の女性が尊い命を落としています。その理由の多くは日本では想像しがたいものです。本では想像しがたいものですが、栄養失調や不衛生な環境、保健医療サービスの欠如等です。母親が亡くなると生まれた赤ちゃんの健康が十分に守られず命を落とす割合も高くなるそうです。

ジヨイセフへ、フルーチップ63冊（31・500枚）を送りました。ジヨイセフは、途上国の妊産婦と女性の命と健康を守るために活動している、日本生まれの国際協力NGOです。送られたフルーチップはジヨイセフで換金され、妊産婦と女性の命と健康を守る活動（ホワイトリボン運動）の資金の一部として活用されます。途上国では妊娠や出産が原因で1日に800人以上の女性が尊い命を落としています。その理由の多くは日本では想像しがたいものです。本では想像しがたいものですが、栄養失調や不衛生な環境、保健医療サービスの欠如等です。母親が亡くなると生まれた赤ちゃんの健康が十分に守られず命を落とす割合も高くなるそうです。

ジヨイセフへ、フルーチップ63冊（31・500枚）を送りました。ジヨイセフは、途上国の妊産婦と女性の命と健康を守るために活動している、日本生まれの国際協力NGOです。送られたフルーチップはジヨイセフで換金され、妊産婦と女性の命と健康を守る活動（ホワイトリボン運動）の資金の一部として活用されます。途上国では妊娠や出産が原因で1日に800人以上の女性が尊い命を落としています。その理由の多くは日本では想像しがたいものです。本では想像しがたいものですが、栄養失調や不衛生な環境、保健医療サービスの欠如等です。母親が亡くなると生まれた赤ちゃんの健康が十分に守られず命を落とす割合も高くなるそうです。

フルーチップ送付

椿油御礼

8月の予定

お盆休み
11日（月）～15日（金）
ちゅんこめ
フェニックス
社協はお盆も休まず
業務を行います。



6月23日に椿油を販売しました。販売開始一時間前からたくさんの方が並んで下さい、販売初日で全て完売し、11万5千円の収益を上げることが出来ました。この収益は、ボランティア活動の推進のために使われます。途上国では妊娠や出産が原因で1日に800人以上の女性が尊い命を落としています。その理由の多くは日本では想像しがたいものです。本では想像しがたいものですが、栄養失調や不衛生な環境、保健医療サービスの欠如等です。母親が亡くなると生まれた赤ちゃんの健康が十分に守られず命を落とす割合も高くなるそうです。

また、9月から来年の販売に向けて椿の実を集め始めますのでご協力下さいます。ようお願い申し上げます。